

# 実用フランス語技能検定試験

通称：仏検

フランス語教育振興協会 仏検事務局

1981年からスタートした、日本独自の公式（文部科学省認定）の検定試験。

5級から始まり1級まで、準1級を含め、現在、6レベルがあります。

春期：6月（1級を除く全レベル） 秋期：11月（準1級を除く全レベル）1級、準1級、2級には、それぞれ2次試験（面接）があります。

フランス語初級（基礎・構造）の履修者は4～5級、中級履修者は3級にチャレンジするのが目安です。どの級も合格の目安は60～65点程度です。

どのレベルでも、1次試験では日常生活に必要な「書く」「読む」「聞く」力を問うことを目的としています。

2級以上では2次の面接試験が入るために、これに加えて「話す」能力も問われることとなります。

5級・4級では、大学での授業を中心に勉強していくことで基本的な対応はできますが、語彙力や「聞き

取り」の力は、それぞれに磨いておく必要があります。LLテープライブラリーに備えてある参考書や自習テープなどが、役に立ちます。

3級以上は、大学での勉強以外に、受験に向けての多少の準備が必要になります。特に「聞き取り」は大

学の授業ではなかなか充分には練習できないので、CDなどを使って、できるだけ耳をフランス語に慣らせておくといよいでしょう。会話や中・上級のクラスのネイティブの先生の授業に出るのもよいと思います。

受験の目安としては、1年次の秋か2年次の春に4～5級、2年次の秋に3級を目指すのがよいでしょう。

ちなみに、姉妹校のリヨン大学への長期留学は3級程度の力が目安になります。

さらに上級向けのものとして、DELF / DALF という検定試験があります。これは、フランス文部省の公認のもので（日本だけでなく、世界中で実施されています）、年に2回（春・秋）行われます。この試験の最終レベルに合格すると、フランスの大学入学資格が得られます。詳しくは以下のHPを参照してください。

[http://web.kyoto-inet.or.jp/people/ifjk606/delfdalf\\_jp.html](http://web.kyoto-inet.or.jp/people/ifjk606/delfdalf_jp.html)

法学部 根岸 徹郎（フランス語）